



希望を語ろう!



<本田ガバナー年度地区スローガン>

国際ロータリー第2840地区

2013-2014年度

ガバナー補佐 年間活動報告

第1分区	ガバナー補佐	北爪	國平
第2分区A	ガバナー補佐	星野	榮助
第2分区B	ガバナー補佐	久保	勲
第3分区	ガバナー補佐	浅田	千秋
第4分区A	ガバナー補佐	五十嵐	敏明
第4分区B	ガバナー補佐	大越	正禎
第5分区	ガバナー補佐	町田	久
第6分区	ガバナー補佐	荻野	勝美

第2分区A 年間活動報告

第2分区Aガバナー補佐
星野 榮助（桐生赤城RC）

第2分区A 5RC会長・幹事様、会員の皆様にはこの一年間大変お世話になりました。

また本田ガバナー、地区スタッフの皆様にも大変お世話になり、ガバナー補佐という重責を何とか大過なく終了できることが出来ました。就任決定となってから不安だらけの日々でしたが、周囲の皆様の温かい友情、ご協力を改めて感じた一年だったような気がしております。

それではガバナー補佐として以下の活動を行いましたので報告します

◎公式訪問関係

1. 第1回ガバナー補佐公式訪問

各クラブの2013-2014年度第1回例会に参加し、就任挨拶と各クラブ会長・幹事の年度方針を伺った。

2. ガバナー公式訪問の2週間以前に事前ガバナー補佐公式訪問を実施し、下記事項を説明・紹介した。

- ① ガバナーの紹介及び地区スローガン・地区目標・数値目標の説明、RI会長の講話の抜粋を紹介、説明し、本田ガバナーの考えを伝えるようにした。
- ② 各クラブの特に重要と思われる委員会の委員長の方針を発表していただいた。

3. ガバナー公式訪問に随行し、例会前の事前懇談会に出席し、各クラブの状況をガバナーに説明した。また第2分区A最後（桐生中央RC）の訪問後、分区内5RC合同のガバナー歓迎会に出席した。

4. IMについて、各クラブを訪問し、改めて開催の意義を説明し、出席のお願いを行った。

◎IMの開催

26年3月22日に本田ガバナー・疋田パストガバナーはじめご来賓のご出席をいただき、分区内会員160名の登録をいただいて10年ぶりにIMを開催しました。本来ですと近隣都市間との合同で行うべきところですが、久しぶりということで、まずは分区内で情報を共有することを目標として、分区内5クラブの代表的な活動を発表していただいた。

◎分区内会長幹事会関係

下記のように開催され、出席し当面の行事予定、各クラブの状況等を話し合い分区内の意見交換を活発に行った。

- ①平成25年5月29日：現新会長幹事引き継ぎ
- ②平成25年6月25日：初例会の表敬相互訪問、ガバナー補佐並びにガバナー公式訪問、IM開催、地区大会登録、5RC合同夜間例会並びに合同チャリティーコンペ等
- ③平成25年8月21日：5RC合同夜間例会 兼 本田ガバナー歓迎会、合同チャリティーコンペ、IM開催日、「しゅんすけ君を救う会」への対応等
- ④平成25年10月30日：IM開催日時・登録人数、群馬大学理工学部留学生交流会等
- ⑤平成25年12月5日：群馬大学理工学部留学生交流会、青少年交換プログラムへの対応等
- ⑥平成26年2月18日：IM登録人数、群馬大学理工学部留学生交流会、青少年交換プログラムへの対応、チャリティーゴルフ寄付金寄贈先等
- ⑦平成26年5月28日：現新会長幹事引き継ぎ、IM決算報告・2013-2014年度事業決算報告等

◎地区主催の各研修会、その他関係委員会（地区）への出席

◎その他

- 「しゅんすけ君を救う会」への協力
分区内各クラブへ募金を呼びかけ、集まった浄財を、救う会事務局長へ贈呈した。
- 2840地区ローターアクト地区大会（太田市で開催）へ出席
- 桐生ローターアクトクラブが企画した「足尾に緑を～心を植樹～」プロジェクトに参加し栃木県足尾の山に桐生第一高校インターアクトクラブ・桐生RC・桐生赤城RCのメンバーなど総勢45名とともに植樹を行った
- 群馬大学理工学部留学生との交流会へ出席

至らないガバナー補佐ではありましたが、クラブ訪問では暖かく迎えられ、大変感謝しております。また分区内だけでなく、多くの皆様とも知り合いになり、有意義な一年だったと思います。多くの皆様のご協力、友情に感謝するとともに、関係皆様の発展を祈念いたしまして、報告とさせていただきます。

第2分区B 年間活動報告

第2分区Bガバナー補佐
久保 勲（伊勢崎中央RC）

今年度の第1回ガバナー補佐会議は例年より早い10月27日～28日の1泊の勉強会で始まり、本田ガバナーの提唱する地区テーマ「希望を語ろう」を大前提とした活力あるクラブ造りを目指して意気揚々とスタートしたのを思い出します。

年当初の各クラブへの表敬訪問を皮切りに、ガバナー公式訪問の事前訪問、また10年以上開催されなかった「IM」の説明と協力依頼等に第2分区の5RCにお伺いしましたが、どのクラブにも大変歓迎して戴き感謝申し上げます。

我が分区の特記すべき件は、なんとと言っても3月23日（日）に開催した「IM」かと思えます。

ガバナー、地区幹事を初め総勢97名の参加を得て、パストガバナーの牛久保哲男氏に魅力あるクラブを目指して「ロータリークラブの活性化」と題して基調講演をお願いして、その後、各クラブの会長からこれまでの事例発表と会員増強に対する会長の意思表示も発表してもらい、クラブの活性化に更なる努力をお願い致しました。

次に各クラブの主だった活動を簡単に紹介します。

伊勢崎RC

- ・例会出席率が90%以上
- ・被災地、福島県の中学校への運動備品の寄贈
- ・少年ラグビー大会への支援
- ・青少年交換学生受け入れ
- ・創立60周年記念式典（4月5日）

群馬境RC

- ・地元 島村地区の世界遺産群施設の応援
- ・河津桜委員会があり、創立30周年に植えた桜のメンテナンス
- ・5RC共同事業の「日野皓正チャリティーコンサート」の主幹クラブとしての渉外活動

伊勢崎中央RC

- ・会員増強プロジェクトチームを結成しての新入会員11名の増強
- ・伊勢崎佐波卓球大会の支援
- ・趣味の会を10個を有し、中でも野球部に於いては、群馬県RC野球大会では5連覇中。

伊勢崎南RC

- ・四ツ葉学園中等教育学校のインターアクトの支援及び指導
- ・平均年齢の若さを生かした諸々の活動

伊勢崎東RC

- ・R I 3 8 2 0 地区 メトロ・サン・ペドロRC (フィリピン) とのWCS 事業で水道水浄化装置を市内の小学校に設置 (9年間で33台)
- ・伊勢崎市内、小・中学校への図書寄贈
- ・創立20周年記念式典 (6月21日)

第2分区Bの5RCの共同の活動について報告します。

群馬境RCがホストとなり、会長・幹事会は年間7回開催され、ボーリング大会、ゴルフコンペ、夜間例会等は例年通り、そつなく行われましたが、今年度特に際立った活動は、4月18日に開催された「日野皓正チャリティーコンサート」に尽きると思います。

5RCが一丸となり大成功をおさめ、収益金にてR I 2 5 3 0 地区 南相馬RCを通じて「ゆめはっとジュニア・ウインド・オーケストラ」に楽器5点 (200万円相当) を寄贈し、被災地の子供達に夢を与えられたことだと思います。

以上、年間活動をご報告させて戴き、この1年間の、関係各位、ロータリーアンの友情に心から感謝申し上げます。

第3分区 年間活動報告

第3分区ガバナー補佐
浅田 千秋（高崎北RC）

私の2013年～2014年度活動報告をいたします。

【1】クラブ訪問

クラブ訪問は、高崎RC、高崎南RC、高崎北RC、高崎東RC、高崎シンフォニーRC、高崎セントラルRCの6クラブを、2013年2回（ガバナー訪問同行1回含む）、2014年2回実施しました。

【2】会員増強

会員増強については、6クラブそれぞれに対し、重点項目として活動されるよう強く要請しましたが、以下の意見がありました。

① 高崎市の立地上、会員候補者が数クラブで重複することがあり、クラブ間や会員候補者が各クラブに遠慮して、入会に至りにくい。

② 女性会員の勧誘については、単に会員増強の員数合わせの為では反発を招くだけである。女性ならではの感性・観点からロータリー活動の活性化に協力していただきたい旨を強調し勧誘する必要がある。そうすれば女性会員候補者にも、女性会員入会嫌忌者にも理解して貰える。

③ 会員増強純増クラブは次のとおりです。

高崎RC・高崎南RC・高崎北RC

高崎セントラルRC・高崎シンフォニーRC

高崎東RCは、新会員の数が退会会員の数を上回らず純増とはいかず残念でしたが、新会員の入会により活性化され、他のRCと同様会員増強に工夫を重ねていますので、来年度は実績を残せるものと期待します。

【3】五大奉仕の実施

クラブ奉仕・職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕については、高崎6RCそれぞれに長い経験と工夫を重ね実績を上げています。

① クラブ奉仕は、各クラブとも国内海外に姉妹クラブを持ち、親睦交流を深めています。本年度特筆すべきは高崎シンフォニーRCが灘東RCと姉妹提携を結び、今後とも活性化が期待できます。

② 職業奉仕は、高崎北RCが高崎商業高校において就職予定者へのRC会員による模擬会社面接の検討をしており、実現すれば地域への高い貢献が期待されます。その他、小学、中学、高校などへRC会員による出前職業

理解説明会の実施なども検討の余地がありますが（確か沼田RCでは実施中）、受け入れ側の学校関係者の理解、必要性などの認識協力がないと、実現困難であるのが実情です。

- ③ 社会奉仕は、各RCそれぞれに幾つかの奉仕を実施し、着実に実績を上げ、公共イメージの向上に大いに役立っています。特筆すべきは、高崎市役所に協力し6RC協働のもと、4年越しの念願であった高崎駅東口に時計台を2014年3月18日設置することが出来ました。
- ④ 国際奉仕は、青少年交換留学生の受け入れを各RC持ち回りで実施しておりますが、近況では一つのクラブでは受け入れ体制を整えるのが難しく、世話クラブを中心にあと1, 2クラブが協力していくことが会長幹事会で確認されました。
- ⑤ 新世代奉仕は、インターアクト、ローターアクトクラブを組織し、米山留学生の受け入れもコンスタントに行い、活動補助を尽くしています。

【4】クラブ研修

各RC新会員への研修は毎年実施しており、特に本年度高崎RCでは、会長の日に会長自ら手作りのDVDにより、RCの歴史・奉仕活動・ロータリー財団 Future Vision など多くのロータリー情報を会員に提供し、新会員のみならずベテラン会員にも理解が深まるよう努力を重ねました。

【5】IM

2014年5月11日第3分区だけのIMを実施しました。テーマは「ロータリーライフを語ろう」とし、会員退会防止、ロータリー財団 Future Vision、例会プログラムの工夫を各クラブから語って貰い、これからのロータリーライフを楽しむのに大いに参考になったと思います。懇親会は、各クラブ2名の選抜カラオケ大会を実施し、本田博己ガバナーの模範カラオケ絶唱から始まり、中途退席者も少なく、最後まで皆様にロータリーライフを楽しんでいただけたと自負しております。

第4分区A 年間活動報告

第4分区Aガバナー補佐
五十嵐 敏明(館林西RC)

前任の竹内ガバナー補佐(現ガバナーエレクト)の後を受けてガバナー補佐の任の重さを痛感しつつの一年でありました。各クラブへの4回の訪問及び、本田ガバナーの地区目標でもありましたIMを実施できた事等、第4分区A5クラブはもとより、A・B10クラブの会長・幹事さん・各クラブメンバーの皆様のご協力、ご支援の賜物と感謝申し上げたいと存じます。

以下 第4分区A5クラブのガバナー補佐報告させていただきます。

○太田ロータリークラブ

第4分区Aの中心クラブでもあり、常に第4分区Aのリーダー的クラブであります。とりわけ今年度は竹内ガバナーエレクトの輩出クラブでもあり、例年以上に活力があり次年度ガバナースタッフも若い陣容で浚刺と頼もしい限りであります。

職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕とそれぞれ長い間の継続事業に加え、時代に即応した新しいプログラムがバランス良く展開されております。中でも特筆すべきは新世代奉仕でインターアクト・ローターアクトへの積極的支援、奨学育英基金、市立太田商業高校への「出前授業」等、目を見はるところがあります。

会員増強については、他クラブ同様厳しいものがありますが組織強化、若がえり(平均年齢59.7才)に結果が出ている様に思われます。

<数値目標実績>

1. 会員増強

2013年7月 1日 69名

2014年5月末日 69名

2. ロータリー財団への寄与

ポリオプラス 9.9ドル(1人当り)

3. 米山記念奨学会への寄付

20,927円(1人当り)

○太田西ロータリークラブ

年度当初会員15名と危機的状況にまで落ち込んだ当クラブは、本年度会長のリーダーシップのもと18名と増強されました。又、本年よりCLPの導入により、組織、委員会も何とか構成出来ましたが、予算編成共々、厳しい運営が続いております。

従って奉仕活動も限定的ならざるを得ませんが、西プロバスクラブとの連携で年2回の公共施設の清掃活動・わんぱく少年サッカー大会の後援等、精力的に努力されております。

いずれにしても、会員増強が急務とされており、長期戦略計画の策定・新入会員のオリエンテーション等が課題かと。

<数値目標実績>

1. 会員増強

2013年7月1日 15名

2014年5月末日 18名

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 2. ロータリー財団への寄付
ポリオプラス | 103ドル(1人当り)
14. 5ドル(1人当り) |
| 3. 米山記念奨学会への寄付 | 13, 889円(1人当り) |

○太田南ロータリークラブ

ロータリーを愉しみみんなで実践を！！とこのクラブの代名詞の様で洒脱で円熟味のあるクラブであります。5つの愛好会(歩こう会・俳句会・・・)は正にその真骨頂かと。

又、姉妹クラブの韓国東湖RCとのWCSを始め、国際奉仕に経験豊富なクラブであり「未来の夢計画」よりもWCS優先といった意見もあります。

今後は、他のクラブとの共同でも「未来の夢計画」の参画と多士済々の経験豊富なメンバーの若い受け皿作りといった会員増強が急務かと思われます。

<数値目標実績>

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 会員増強 | |
| 2013年7月1日 | 38名 |
| 2014年5月末日 | 38名 |
| 2. ロータリー財団への寄付
ポリオプラス | 150ドル(1人当り)
0ドル(1人当り) |
| 3. 米山記念奨学会への寄付 | 16, 000円(1人当り) |

○新田ロータリークラブ

2013-14年度 新会長・幹事でスタート後、まもなく新幹事の急逝というご不幸がありましたが、ほどなく後任幹事も決まり、クラブ全体で支え合いました。いつもながらの穏やかな温かみのあるクラブに戻りましたが、物故者、退会者等で本年度、初めて20名を割込み厳しい年となりました。

従いまして、会員増強・組織強化が急務の課題となります。平均年令も64才となり、若年会員・女性会員・新業種会員の発掘が急がれます。インターアクト提唱クラブ(新田暁高校)であり、新世代奉仕に特徴を持っておりませんが、前年 申請した「未来の夢計画」が本年未提唱なのが残念であります。

<数値目標実績>

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 会員増強 | |
| 2013年7月1日 | 23名 |
| 2014年5月末日 | 19名 |
| 2. ロータリー財団への寄付
ポリオプラス | 125. 79ドル(1人当り)
0ドル(1人当り) |
| 3. 米山記念奨学会への寄付 | 15, 684円(1人当り) |

○太田中央ロータリークラブ

平均年齢54才と5クラブ中最も若いクラブであり規模的にも太田RCに次ぐクラブでポテンシャルの高いクラブであります。

特徴ある事業として小学生バレーボール大会の主催で回を重ねるごとに規模が大きくなり、本年(8回)は当初の倍以上の規模になっております。

又、地区の青少年交換委員会には、貢献度高く本年も委員長を派遣しております。進取的で居心地の良い親睦的なクラブでもあり合同例会・移動例会等で5クラブをリードして頂ければと希望します。

<数値目標実績>

1. 会員増強

2013年7月1日 44名

2014年5月末日 45名

2. ロータリー財団への寄付 105ドル(1人当り)

ポリオプラス 14ドル(1人当り)

3. 米山記念奨学会への寄付 11,200円(1人当り)

以上 5クラブの活動報告であります。財団の「未来の夢計画」の申請クラブが、太田RCのみとなりガバナー補佐としての反省と共に残念に思う次第であります。又、各クラブとも会員増強・退会防止が喫緊の最優先課題であり、第4分区Aとしての戦略計画を作る必要もあるのでは。唯、寄付数値目標の実績が向上してきた事は、メンバーの皆様の熱意を感じたる事が出来ました。いずれにしても、本年度から次年度、継続性を確保しつつ、新たな挑戦を期して次年度へバトンタッチして参りたいと思います。

第4分区B 年間活動報告

第4分区B ガバナー補佐
大越 正禎（館林西RC）

2012年10月26日 第1回ガバナー補佐会議が開催され、本田年度のガバナー補佐としての活動が開始されました。年度初めの各クラブ表敬訪問は、第4分区B会長・幹事さんと同行して行いました。一緒に訪問を行ったことでお互いの親密さを深めることが出来IM開催等円滑の内に進めることが出来たと思います。

○館林ロータリークラブ

RI 加盟承認1958年6月2日、歴史と伝統を誇るクラブである。会員数は減少したが、各種奉仕事業については、地域に密着した多くの奉仕活動を継続して行っている。今年度、国蝶オオムラサキが生育できる環境を取り戻すため、市内中学校でネットハウスを地元住民有志と造り上げた。またこの地域にオオムラサキが飛ぶ姿を夢見て、ロータリアン、地元住民、中学生が汗を流し奉仕活動を行った。

○大泉ロータリークラブ

最初の表敬訪問での例会において新入会員3名の紹介と挨拶がありました。海外への奉仕活動実績もあり、また少年サッカー大会の開催については、広い地域からの参加があり実績を積んだ奉仕活動を行っている。

○館林西ロータリークラブ

例会の雰囲気は大変和やかでまとまりの良いクラブであるが、会員拡大増強については大変苦戦している。年度初め会員数20名が19名となり、全員でチームを組み会員拡大に努力している。特に次年度会長の奮闘により、新年度3名の新会員の入会が確約されています。今年度は財団の奉仕活動として、樋口恵子先生をお迎えしての講演会を行い、多くの地域住民の参加があり、成果を上げることが出来た。

○館林東ロータリークラブ

今年度は親睦を中心にクラブ運営を行い、創立30周年記念の式典も多くのロータリアンを迎え、盛大のうちにも和やかに楽しく行われた。ボーイスカウト・ガールスカウト等との奉仕活動も行っているが、体育の日の館林ウォークラリーは今年29回目を数え、500名以上の参加者があります。幼児から高齢者まで大変幅広い人々が楽しんでいます。

○館林ミレニアムロータリークラブ

現在会員数25名、設立時の30名を目標に会員増強に努めている。年齢構成も若い会員も多くバランスが取れており、各種奉仕活動も全員で行っている。今年度未来の夢計画では、館林駅前でけやきの植栽を行った。

第5分区年間活動報告

第5分区ガバナー補佐
町田 久（渋川RC）

年度当初に地区からのご指示では、各クラブに年間最低4回以上訪問して下さい、とのことでした。

そんなに行ったら自分のクラブに出る時間が無くなっちゃうのでは、と一瞬思いましたが、第5分区は6クラブですので、よその5クラブにそれぞれ4回出席しても年間20回ですから、まあそんなことは有りませんでした。只、自分がクラブの会長・幹事だった頃、これといった用事のない当時のアシスタントガバナーが来られても半分迷惑だった記憶があったものですから、そういう訪問だけはしてはならないと肝に銘じました。

しかし結果的に、ガバナー訪問の事前訪問とガバナー訪問の当日、それに急に決まったIMの協力お願いと最後の一年間の御礼訪問で、取り敢えずはきちんとした理由のある訪問が達成出来ました。

沼田RCは、歴史のあるクラブとして、奉仕・寄付活動等で地区の先駆者として活発な活動をしています。年度後半には会員から市長も輩出しました。

草津RCは、会員数は少数ですが、逆にその少数を生かして、例会の中で会長の時間以外に会員の時間を設けて、各会員からフリートークで色々な情報を紹介しています。兎も角、県内というより全国的に見ても抜群の知名度を持つ地域ですので、比較的若い会員を中心に一段とした活動が期待されます。

中之条RCも、比較的少数の会員数ですが、草津と同等の非常に家族的な例会運営に好感が持たれました。訪問時必ず歓迎の歌で迎えて頂くのも有り難いことでした。奉仕の継続事業も地域から期待されています。

沼田中央RCは、利根沼田地域を沼田RCと二分して活動し、お互い切磋琢磨して非常にアグレッシブな活動が続けられています。例会の進め方もユニークで、ソングリーダーをその場でくじ引きで決めていたのには驚かされました。

渋川みどりRCは、今年度20周年を迎えました。沼田中央RCは、沼田RCが分割してスタートしたのに対して、渋川みどりRCは、基本的に新人だけでスタートしたので、ここまで来るのは大変だったでしょうが無事に成人致しました。今年度はIMのコホスト等地区の行事に積極的にご援助頂いて感謝しています。

渋川RCは、出身クラブとして陰に日向に支えて頂きました。執行部の方々の健康トラブル等があり、次年度の皆様にもお手数をお掛け致しました。活動内容は沼田RCと同様、地域の先輩RCとして各々の実績を上げました。

至らぬガバナー補佐ではありましたが、各クラブの一人一人のご援助の元で何とか役割を終えることが出来ました。本当に感謝しても仕切れない程です。次年度に一クラブ一クラブ御礼の訪問をしたい所ですが、多分私と同じように会長幹事から迷惑がられると思いますので省略させて頂きます。

ガバナー・地区幹事はじめ役員の皆様、ガバナー事務局と各クラブの事務局の皆様（特に渋川RCの木村事務局員には普段はない余計な仕事をして頂きました）本当に有り難うございました。

第6分区 年間活動報告

第6分区ガバナー補佐
荻野 勝美（富岡RC）

ガバナー補佐の責務は、ガバナーの要請を分区内のクラブに伝え、これを具現化すること、一方、各クラブの要望事項や目標に対する進捗情報をガバナーに報告し、地区とクラブのパイプ役を務めることにあります。このガバナー補佐の責務を達成するために最も大切なことは各クラブへの定期的な訪問であると思います。昨年7月に始まった第6分区内8クラブに対するクラブ訪問は、それぞれ5回ずつ40回にのぼりました。各クラブとも、それぞれ会員の熱意と情熱に支えられて、素晴らしいクラブばかりだったことを実感しました。私は今まで、ほぼ自クラブ内だけで活動をしてきただけでしたので、ガバナー補佐としての、この貴重な体験はまさに「私のロータリーモーメント」に新たに加わるものとなりました。

本田ガバナーは地区目標の第1番目に「クラブを元気にしよう」を掲げました。平成26年2月22日（土）に開催した第6分区IMで「クラブを元気にしよう」について、議論の場を設けることが出来ました。IMのテーマを「RLIってなんだろう？」として参加した全ての会員の前で「公開形式のRLIセミナー」を2セッション（50分×2時限）開催致しました。セッション1は、入会3年以内の会員又は女性会員がパネラーに、セッション2では各クラブの会長エレクトがそれぞれパネラーになっていただき、両セッション共「クラブを元気にしよう」をテーマに討論して頂きました。本田ガバナーが地区目標の第一に掲げた「クラブを元気にしよう」ということについて大いに議論をたたかわすことが出来ました。このセミナーに参加した全ての会員も貴重な時間を共有することが出来て、今後の各クラブの活性化や会員増強にも繋がっていく契機になったものと確信しています。

一方、数値目標の第一項目に、地区会員数を2,000名以上に回復することが掲げられております。クラブ訪問時等機会があるごとに要請を続けてきたところですが、現在のところ年度初と比較して第6分区では会員増にはなっているものの、もう一段の増強が必要です。また分区内全クラブで純増を達成するという目標も達成が困難な状況にあります。会員増強に対する取り組みについては分区内の各クラブで大きな違いがあり、その結果も必然的に大きな違いが出て来ています。次年度以降も各クラブが地道な努力を続け、会員増強に繋げて行くことを期待しています。

一昨年の10月に第1回ガバナー補佐会議に参加してから実質的なガバナー補佐としての活動が始まりました。そして昨年7月からは、本田年度がスタートして、本格的な活動も始まりました。振り返ってみた時に、自分なりには一生懸命取り組んだつもりでしたが、ガバナー補佐としてその職責が十分に果たせたのか、成果が上げられたのか自分自身では分かりません。次年度新ガバナー補佐に第6分区の更なる発展を託してバトンを渡したいと思います。

最後になりますが、本田ガバナーはじめ地区スタッフの皆様、第6分区の各クラブの会長・幹事・全ての会員の皆様の暖かいご協力と、出身クラブの富岡RCの力強い支援のおかげで、無事任期を全うすることが出来ました。心からの感謝を申し上げ年間活動報告と致します。